

令和7年2月26日
Meiji Seika ファルマ株式会社

(2025年2月更新版) 日本看護倫理学会の声明文に対する当社の見解

2024年8月7日に日本看護倫理学会（以下、当学会）より発表された【緊急声明】「新型コロナウイルス感染症予防接種に導入されるレプリコンワクチンへの懸念 自分と周りの人々のために」（以下、「当声明」）に対して、弊社は、2024年10月9日に事実誤認および科学的知見に基づかない問題提起によって、一般市民の不安を煽ることは、医療に関わる社会的責任を持つ組織としてあってはならないことだと考え、本声明に対する当社の見解を示しました。

今回、以下の青字で示す最新情報を踏まえ、当声明に対する当社見解を改めてお示しいたします。

記

1. 「レプリコンワクチンが開発国や先行治験国で認可されていないという問題」に対して

当学会は「当声明」の中で、「海外で未認可であることは何らかの安全上の懸念があるのではないかと疑わざるを得ません」と主張されていました。その主張に対して弊社は2024年10月9日に以下①の見解を示しました。

今回、以下②の通り、2025年2月12日に欧州30か国で同ワクチンが承認されました。これにより「海外で未認可であることは何らかの安全上の懸念があるのではないかと疑わざるを得ません」という主張が成り立たなくなっており、当声明の変更が必要であると考えます。

- ① レプリコンワクチンであるコスタイベ筋注用は、わが国の医薬品医療機器総合機構(PMDA)の信頼性調査及び承認審査の結果に基づき、最終的に厚生労働大臣が承認したワクチンです。当学会の主張は、EBM(Evidence-Based Medicine)に基づく国内外の専門家や規制当局による科学的評価、承認プロセスを経ている事実を無視した内容であり、わが国の薬事行政およびワクチン接種制度を根底から否定するものであると考えます。
- ② 同ワクチンは2025年2月12日付で欧州委員会（European Commission）によって販売承認され、EU加盟国（2025年3月時点 27か国：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、サイプラス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン）と、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーの計30か国で承認されました。この事実に基づき、当学会は当該記載箇所をただちに削除すべきであります。

参考情報

<https://ec.europa.eu/health/documents/community-register/html/h1873.htm>

2. 「シェディングの問題」に対して

当学会は「当声明」の中で、「レプリコンワクチンが「自己複製する mRNA」であるために、レプリコンワクチン自体が接種者から非接種者に感染(シェディング)するのではないかと懸念があります(Seneff & Nigh, 2021)。」と主張されていました。その主張に対して弊社は2024年10月9日に以下①の見解を示しました。

その後、2024年10月17日に以下②日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本ワクチン学会の3学会による見解、以下③厚生労働省のQ&Aが示され、いずれにおいても「シェディング」が明確に否定されています。「当声明」の引用論文の信頼性も含め、当学会には声明内容の検証を求めます。

- ① 当学会が根拠とされている(Seneff & Nigh, 2021)という論文はPubMedという世界的に有名な医学論文サイトで調べることができない信頼度が低いものであるにもかかわらず、そのような論文を根拠として示し、科学的知見があるかのように装うのは悪質と考えます。

参考情報

新型コロナワクチンをめぐり科学的根拠の不確かな情報が拡散 NHK
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250121/k10014697891000.html>

- ② 2024年10月17日に日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本ワクチン学会の3学会より「2024年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解」が示され、レプリコンワクチンについては「被接種者が周囲の人に感染させるリスク(シェディング)はありません。」と明確に否定されています。その理由として「(レプリコンワクチンにより)自己増幅されるのはスパイクタンパク質のmRNAだけであり、感染力のあるウイルスや複製可能なベクターはコストイベに含まれていません。」と記載がございます。

参考情報

2024年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/news/gakkai/gakkai_covid19_241106.pdf

- ③ 厚生労働省の新型コロナワクチンQ&Aにおいても、「現在、色々な国で、新型コロナワクチンのレプリコンワクチンを含め、様々な疾患を対象としたレプリコンワクチンの開発が進められていますが、これまでに、レプリコンワクチン接種者から他者にワクチンの成分が伝播するという科学的知見は得られていません。」とあり、当学会が主張する(シェディング)に対して、その科学的知見がないことが明確にされております。

参考情報

[新型コロナワクチンQ&A | 厚生労働省 \(mhlw/go.jp\)](https://mhlw.go.jp)